バナキュラー建築と 現代の建築環境: Part II

岩村 和夫

東京都市大学名誉教授 香港珠海大学客員教授 株式会社岩村アトリエ代表取締役







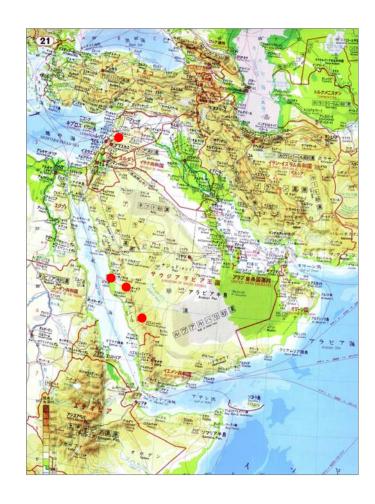
A. バナキュラー建築の万華鏡

- 1. 中 東 (サウジアラビア, シリア)
- 2. ギリシャ
- 3. 欧州 (イタリア, ドイツ, フランス, オランダ)
- 4. 東南アジア (インドネシア, 中国)
- 5. 日 本

1.中 東

1-1. サウジアラビア >アブハ >タイフ >ジェッダ

1-2. シリア >ダマスカス



10

1-1. サウジアラビア、アブハ-1: 土の層状住宅



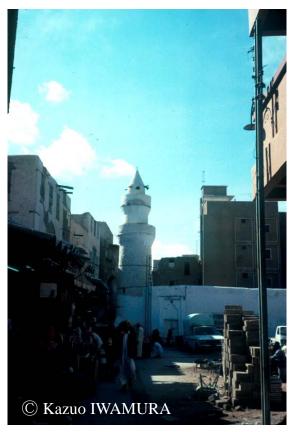
1-1. サウジアラビア, アブハ-2:空冷フィンの層状住宅

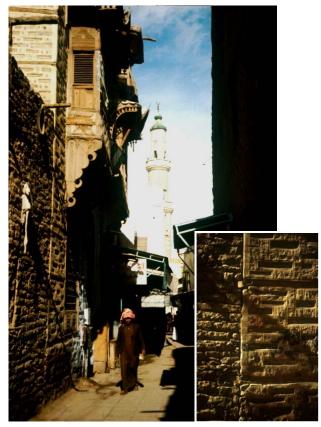


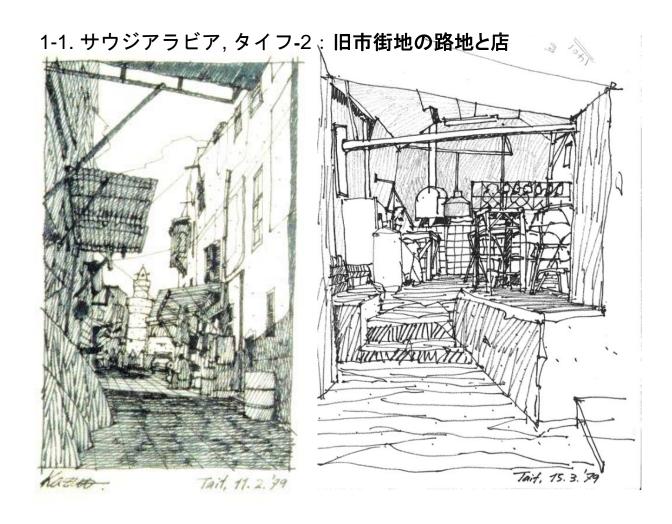


© Kazuo IWAMURA

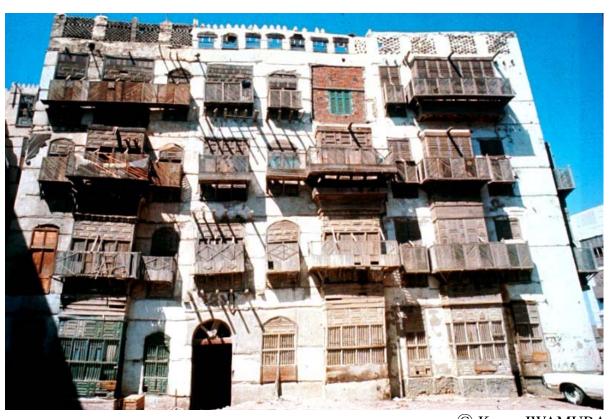
1-1. サウジアラビア、タイフ-1: 陰翳の旧市街地







1-1. サウジアラビア, ジェッダ: 紅海港街の土造集合住宅



© Kazuo IWAMURA

1-2. シリア、ダマスカス:回廊パティオのある都市住宅



© Kazuo IWAMURA

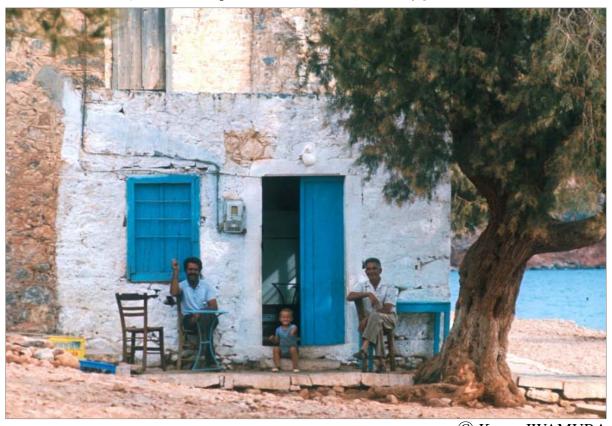
16

2. ギリシャ

>クレタ島 >スキアトス島 >サントリーニ島



2-1. ギリシャ、クレタ島: ヴァナキュラーな街並みのDNA



© Kazuo IWAMURA

2-1. ギリシャ、スキアトス島:住民手作りのまちづくり







© Kazuo IWAMURA

2-1. ギリシャ、サントリーニ島:断崖上の理想郷







3. 欧州

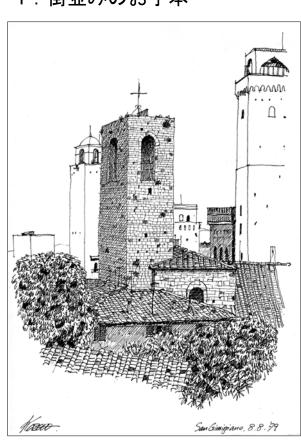
- 3-1. ポルトガル >ヴァルツェス・コヴァ
- 3-2. イタリア
 >サン・ジミニアーノ
 >ヴェニス
 >フィレンツェ
- 3-3. ドイツ >ウンターアマガウ >ゴスラー >ヨーク
- 3-4. フランス >パリ
- 3-5. オランダ >デルフト



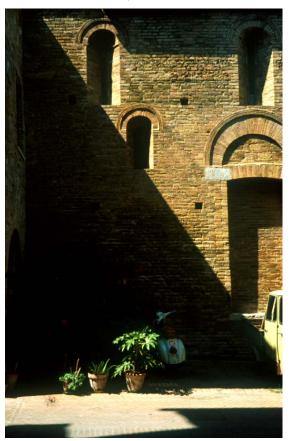


3-1. イタリア、サンジミニアーノ-1:街並みのお手本





3-1. イタリア、サンジミニアーノ-2:素材のパレット





3-2. イタリア、ヴェニス-1: 水運の豊穣



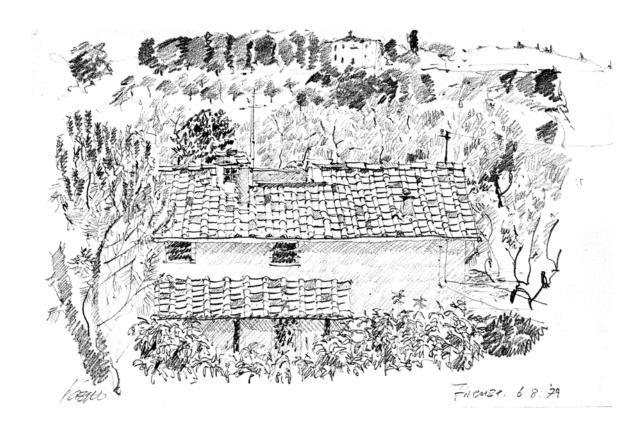




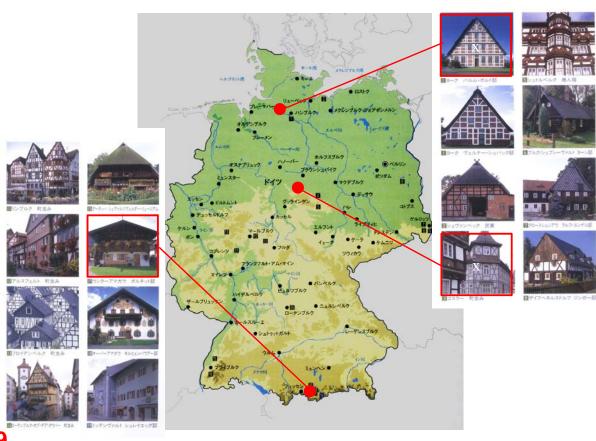
3-2. イタリア、ヴェニス-3:暮らしのバナキュラー



3-2. イタリア、フィレンツェ: 自然との共生



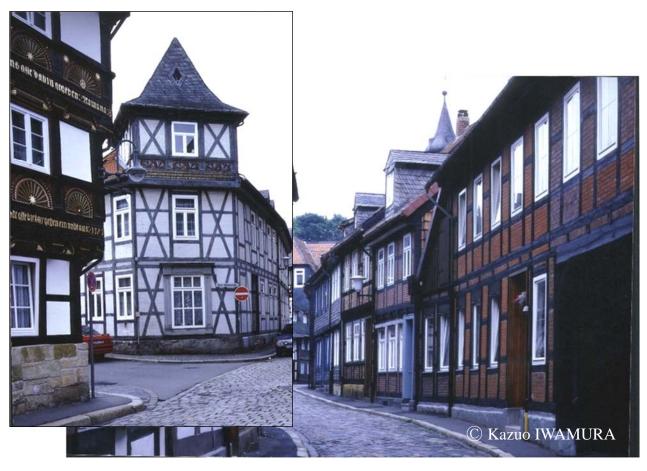
3-3. ドイツ: バナキュラーな家々



3-3. ドイツ、ヨーク: ハーレンハウス (ハーフティンバーの農家)



3-3. ドイツ、ゴスラー-1:ハーフティンバーの街並み





3-3. ドイツ、ウンターアマガウ-1: アルプス山麓のバナキュラー

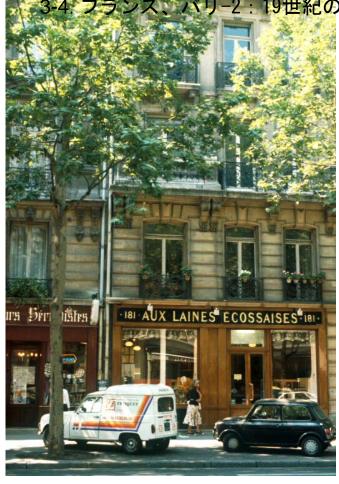


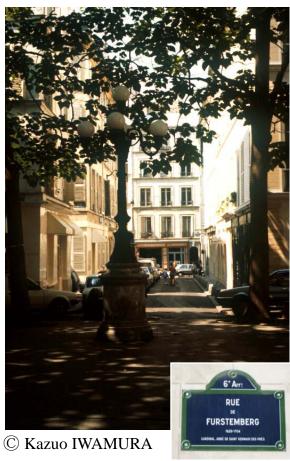
3-3. ドイツ、ウンターアマガウ-2:野趣に富んだインテリア





3-4 フランス、パリ−2:1<mark>9世紀の</mark>オスマニアン街並み





3-5. オランダ、デルフト-1: 運河が巡る水のまち



3-5. オランダ、デルフト-2: 彩りが水面に揺らぐまち





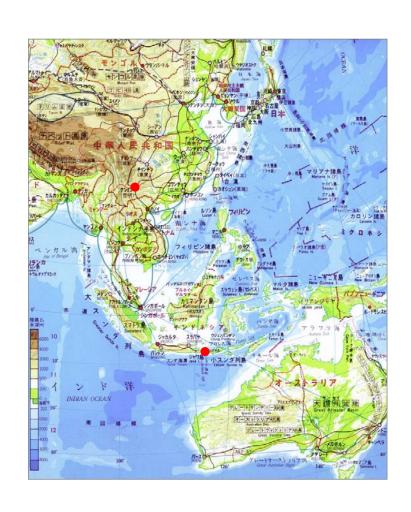


© Kazuo IWAMURA

4. 東南アジア

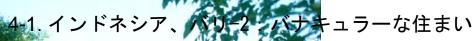
4-1. インドネシア >バリ

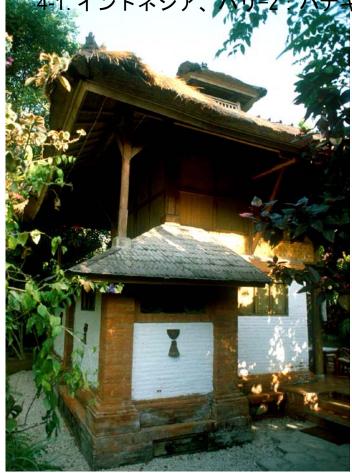
4-2. 中国 >麗江



4-1. インドネシア、バリ-1: バナキュラーなバンガロー







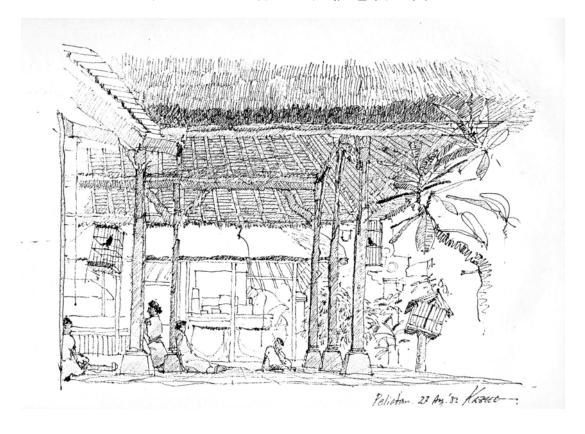


© Kazuo IWAMURA

4-1. インドネシア、バリ-3: バナキュラーなコンパウンド



4-1. インドネシア、バリ-2: 踊りの伝統を紡ぐ舞台







4-2. 中国、麗江-3:四合院の暮らし

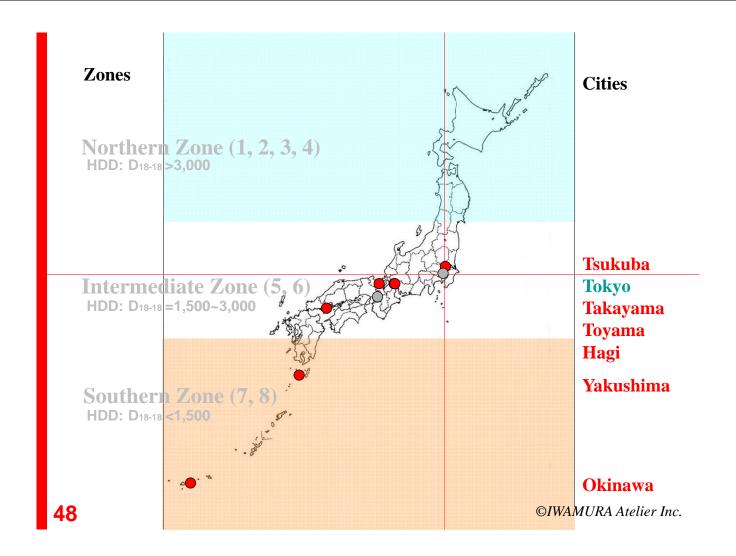






5. 日 本

- 5-1. 砺波平野の散居村: 屋敷林で季節風を緩和する 富山県
- 5-2. つくば(洞下)の 街村: 配置で微気候を緩和する 茨城県
- 5-3. 飛騨高山白川郷: 「結」による茅葺きのリナイケル 岐阜県
- 5-4. 萩のまちなみ: 掘り割りの水と暮らす 山口県
- 5-5. 那覇の中村家住宅: 亜熱帯のレジリエント住宅 沖縄県







守ってきました。屋敷林が、冬の季節風などから農家を日照が必要な南東側を除いた周囲を囲

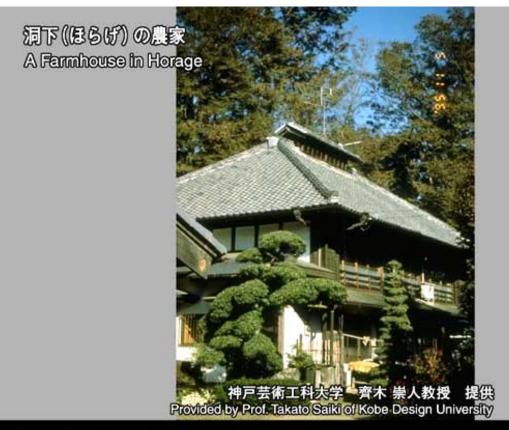
A group of trees on site, covering all sides of the house, except the southeast for sun-lighting, has been protecting the farmhouse from seasonal harsh winds in winter.

© Kazuo IWAMURA



街村形式の農村集落。 街道筋に発達し、外側の平地林に守られた

This linear village was developed along the both sides of a strait highway, while being protected from local winds by the linear woods laid on outer sides of the village.



時を超えて愛され、現代に息づいています。背後の平地材に守られた農家は

Such farmhouse protected by the wood behind has been beloved by people through the ages, and is still actively lived today.

© Kazuo IWAMURA

5-3. 飛騨高山白川郷

The "Kaya" straws used to make the traditional steep thatched roofs can also be dried out around the house, and used to make snow shelters and insulation mats against cold winter.

The used thatch can be then ploughed into the farming field as fertilizer or laid on the ground as mulch to prevent weed growing, eventually returning to the earth.

Such ecological culture is supported by the communal collaborations.





深い雪におおわれた冬の白川郷** Shirakawa-go blanketed in deep snow during winter





雪囲いの取りつけ** Attaching the snow guards

雪に備えて雪囲いを家のまわりに取りつけます。春、雪が消えると小屋裏に置いて乾燥、保存し、やがて 屋根の葺きかえに利用されます。

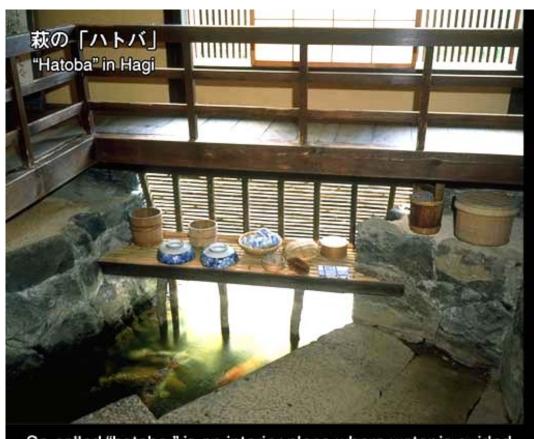
Snow guards are attached to the walls of the house before the first snow starts to fall. In spring, when the snow has all metted away, these thatch guards are dried out in the attic space. They will eventually be used to rethatch the roof.

© Kazuo IWAMURA



In a popular house along a canal, there still remain former unique scenes of living with water just as they used to be.

当時の生活の跡がそのまま残っています。埋河沿いの民家には水を活かした



事などに利用した通称「ハトバ」です。「内の一角に水路から水を引き込み、

So-called "hatoba" is an interior place where water is guided from the outside canal and used for cooking, etc.

© Kazuo IWAMURA





